

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市北区中百舌鳥町5丁 新築	階数	地上13F
建設地	堺市北区中百舌鳥町5丁782-2	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	176 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年1月10日
敷地面積	1,026 m ²	作成者	株式会社 都市建 一級建築士事務所 別所 篤
建築面積	357 m ²	確認日	2023年1月10日
延床面積	3,519 m ²	確認者	株式会社 都市建 一級建築士事務所 山本 英



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 81%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	計画地は東西北の道路三面に面しており、道路沿いや敷地内に可能な限り緑地を設けることで、周辺に配慮した計画となりました。 また、駅が近くにある敷地の為、敷地内に駐輪場をできるだけ整備し、周辺施設に影響がないように配慮しました。	その他 特になし。
Q1 室内環境	敷地西側に線路・南側に幹線道路がある為、幹線道路に面している専用部分については遮音性能T-2にするなど防音対策を重視している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑地を設け、まちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 駐車場・駐輪場を十分な台数確保しています。 また、人通りの多い歩道に出入口が面している為歩行者が敷地外へ出る際の見通しを確保しています。
Q2 サービス性能	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理がしやすい設計となっています。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市北区中百舌鳥町5丁 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区中百舌鳥町5丁782-2	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 3,518.52 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	4	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.7	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値		2.0
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.7	4	
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		2.0
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	